

## 美しい敬語

### 鍾宇帆(2班 台湾)

台湾の大学で日本語を専攻してから勉強を続けて10年になりますがいまだに未熟です。最初は難しいと思いましたが日本語は美しい言葉だと分かってきました。特に敬語とうい言葉遣いが、ほかの言語と違い、心を込めた表現だと思います。敬語は相手に敬意を払い、好感をもたらす役目を果たし、お互いの関係をうまくします。常に「いただきます」、「お疲れさまです」などの一言を言う日本人は素敵だと思います。

しかし、最近の若い人はだんだん昔の美しい言葉遣いをしなくなっていると思います。とても良い習慣で意味深いものなのに非常に残念だと思います。外国人として美しい日本語をうまく使えるように一生懸命頑張ります。日本に居ている間に少しでも日本の伝統文化と和の魂を勉強しようと思います。よろしくをお願いします。



## 最近の日本語教室に思う

### 2班小濱良吉

最近、ボランティアと学習登録者の減少、出席率の低下、出欠状況の報告など意識の変化を感じます。時代と共に変わるのはいちことです。その変化に対応出来なければ先細りし、淘汰されるのが世の常です。いろいろな事情をやり繰りして、暑い、寒い、空腹を耐えて教室に来て援助する人がいない、また固定して教えてくれる人がいな

い状況では出席率は下がり、意欲も低下してやめていかざるを得ないと思います。出席した人によどのようなサービスや満足を与えたか否かが問われると思います。今、欠けているのはボランティアと学習者との間のコミュニケーションではないでしょうか！ 両者の出席状況を確実に掴み、待ち人に情報を伝える必要があると思います。

次にボランティアは名札や学習ファイルの準備、記録、後片付け、当番班の仕事など役割を確実に果たすなどボランティアの基本に返ろうではありませんか！

各年度によってベトナム、インドネシア、中国や台湾など人員構成が変わっています。最近台湾の1年ビザの学習者が増えており、市岡日本語教室にも変化が見られます。例えば、3年ビザであれば、1年目は日本語の学習、専門学校、バイトや就職活動など比較的余裕がありました。それが1年ビザになると、3分の1の期間でやる必要がありとても忙しく大変である。このような状況が継続性や出席率の悪さに影響していると思われます。また、1年ビザで来日される人は、日本語能力のある人が多いですが、バイトや就職となると文化の違いや言葉の問題で悪戦苦闘しています。学習者の仕事や日常生活での問題など出来る限り聞いて援助して下さい。

## 市岡日本語教室

### 陳怡廷(台湾)

一年前ほど、日本語学校で市岡日本語教室のチラシを見ました。「お金はいりません。予約もいりません。来たい時にいつでもきてください。」と書いていました。そのとき、大阪に来たばかりの私、誰も知りませんが、この教室は日本語の

勉強と友達の付き合いに役立つと思えました。そして、ある金曜日の夜に教室に来ました。意外にもその日は一年一度「七夕」のイベントの日でした。初めて来た私、会場の雰囲気と皆様の優しさが好きになりました。それから、たとえ家は遠くでも、天気がわるくても、毎週ちゃんと教室に通いました。

この一年間、先生達に本当に感謝しまして、いろいろなことを教えて、面白いイベントを計画しまして、日本の美しいところを見につれていきました！ 中之島遠足、星のブランコ、元町公園の花見、五班の嵐山散策、毎回のオープンクラス…いつも楽しいでした！ これは全部私の在日期間に大切な思い出になりました。本当に皆様に出会ってよかった！

ワーキングホリデーの1年中に、バイトをしながら、日本語を勉強しました。先生のおかげさまで、ご丁寧に指導してくださらないと日本語能力試験N2合格できないと思います。国へ帰って就職するんですから。ここにいる間、いろいろお世話になりました。誠にありがとうございます。これからも精一杯頑張ります！皆様どうかお元気で！

(ほぼ原文どおりに掲載しました。)

